



<公演企画のご案内>



静岡発のオリジナル舞台作品を！



「ラウドヒル計画」の基本的な作品制作コンセプトは「誰でも気軽に楽しめること」、そして、「観るとちょっぴり元気が出ること」です。

また、スピンオフ作品の多くは、県内の学校等への出張公演や、規模の小さな公共ホール等でも上演可能となるよう出演者の数も舞台装置をコンパクトに抑えた設定が特徴です。

将来は、「静岡で生まれたオリジナル作品を、静岡の皆で楽しみ、感動を共有する」といった営みが日常化していくことを期待しています。

静岡の歴史と文化を見つめなおす。

精鋭演劇集団「エイトビート」を中心とした以下3作品は、いずれも高い完成度を誇るとともに、学校公演を意識した作品です。

今回ご案内する『BIRDMEN』と『Five Star』は、特攻を拒否したことで知られる「芙蓉部隊」、核廃絶運動のきっかけとなった「第五福竜丸事件」をテーマとしており、『Kiss of Life』は、高校生にとって身近な存在になった「選挙」を題材にして、現在の若者たちが自らの日常を見直し、考える機会となることを意図しています。



本格的な舞台作品を低価格で。



学校の芸術鑑賞教室を計画される時、どうしても価格は大きな検討要素となります。

「ラウドヒル計画」は市民参加型プロジェクトということもあり、これまでは作品づくりと完成度の向上を徹底して行っていたため、主に静岡市を中心に展開してきましたが、様々な工夫や出演者の成熟により、高い完成度をもった本格的な舞台作品を、価格を押さえて実施することが可能となりました。

何卒、ラウドヒル計画の公演を自主事業又は学校公演で取り上げていただき、舞台芸術の素晴らしさを多くの方にご紹介する機会を頂きますよう、お願い申し上げます。



「ラウドヒル計画」は静岡市民文化会館を拠点に、静岡の人々による完全オリジナル舞台作品を継続的に創作・発信する長期プロジェクトです。

これまで清水エスパルス、徳川家康、竹取物語など、静岡に強くこだわったテーマで、意欲的な舞台作品を制作上演して、地方発の文化創造を推進してきました。

2013年に制作上演した、清水エスパルス公式ダンスミュージカルである『GO! ALL』を皮切りに、市民50人以上が参加する大型作品を5作品、市民参加者の精鋭メンバーによるスピンオフ作品を7作品、ダンス作品を1作品を制作し、初演・再演を含め全21公演を上演しています。

さらに、2018年度からは障害のある方も含むチームでダンスの短編作品を発表するなど、バリアフリー型の文化活動にも取り組んでいます。

静かな岡「サイレントヒル」を、人々が集い、熱意あふれる、賑やかな岡「ラウドヒル」にしてゆくことを目指し、精力的な挑戦を続けています。



費用等については、静岡市民文化会館までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

静岡市民文化会館（担当：星野、岩科）

TEL 054-251-3751 / メール info@scch.shizuoka-city.or.jp

精鋭演劇集団「エイトビート」



市民参画による舞台制作プロジェクト「ラウドヒル計画」。
当初より 50 人以上が出演する大規模公演を行ってきましたが、2017 年度から少人数で一層高い完成度をめざす企画を始動させました。

そのために、市民参加者の中から選抜され、結成されたのが、静岡出身の男性 8 人で構成する精鋭演劇集団「エイトビート」です。

仕事や学業の傍ら、熱意溢れる稽古を経て、2016 年 7 月に旗揚げ公演となる『スターダストメモリー』を大好評のうちに成功させることができました。

その後も新作公演と再演公演を重ねており、完成度の高さから、観覧者アンケートで非常に高い評価を獲得しています。

【過去の公演】	満足度
2016 年 7 月 『スターダストメモリー』	94.6%
2017 年 5 月 『スターダストメモリー』	97.3%
2017 年 12 月 『BIRDMEN』	95.7%
2019 年 3 月 『BIRDMEN』	93.1%
2020 年 10 月 『Five Star』	94.4%
2021 年 3 月 『Five Star』	94.1%
2021 年 11 月 『BIRDMEN』 (一般)	98.9%
2021 年 11 月 『BIRDMEN』 (高校)	95.8%
2022 年 3 月 『Kiss of Life』	96.8%
(全公演平均)	95.6%

総監督・プロデューサー



勝山康晴（かつやまやすはる）

ROCKSTAR有限会社代表取締役。ダンス集団「コンドルズ」プロデューサーとして、2016年9月にはNHKホール公演を即日完売超満員＋追加公演に。世界30カ国以上で公演。静岡市文化会館の舞台制作では初回作品「GO!!ALL」から総監督・プロデューサーに就任。誰もが楽しめる総合エンターテインメントとしての舞台づくりを一貫して指揮。現在、ロックバンド「FF0000」で作詞作曲、ボーカルを担当。アニメ漫画通。早稲田大学社会学部卒。藤枝市出身。

演出



河田園子（かわだそのこ）

演出家。玉川大学文学部英米文学科を卒業後、財団法人現代演劇協会（劇団昴）を経て演劇企画JOKOメンバーに。演劇学校、声優学校等の講師を務める傍ら、地方での演劇制作、ワークショップ等の取り組みに幅広く参画してきた。静岡市民文化会館では、勝山氏と同じく初回作品「GO!!ALL」から一貫して演出を担当。伊東市宇佐美出身。

【これまでの制作・上演実績】

- 2013 7月 エスパルスオフィシャルダンスミュージカル『GO!! ALL』
- 2014 9月 エスパルスオフィシャルダンスミュージカル『GO!! ALL』（再演）
- 2015 3月 『STAND UP! シズオカ独立宣言 家康再起動』
9月 『STAND UP! シズオカ独立宣言 家康再起動』（再演）
- 2016 7月 エイトビート『スターダストメモリー』
- 2017 3月 『Action! ～シズオカ新撰組血風録～』
5月 エイトビート『スターダストメモリー』（再演）
12月 エイトビート『BIRDMEN』
ハイポジション『NoWoman NoCry』
- 2018 3月 『Fly me to the Moon タケトリストーリー』（ダンス作品）
11月 『BEAT IT!! ～新今川物語 2018～』
- 2019 1月 障害者ダンスチーム・ハンドルズ『君とならなんか変われる気がするの』
3月 エイトビート『BIRDMEN』（再演）
3月 ハイポジション『Shine a Light』
5月 『BEAT IT!! ～新今川物語 2019～』（再演）
10月 エイトビート『Five Star』
11月 ハイポジション『Shine a Light』（再演）
- 2020 3月 エイトビート『Five Star』（再演）※新型コロナウイルスの影響により中止
10月 エイトビート『BIRDMEN』（再演）※新型コロナウイルスの影響により中止
- 2021 3月 エイトビート『Five Star』（再演）
10月 『FLASH! アベハナネヴァーエンド』
11月 エイトビート『BIRDMEN』（再演）※静岡県立科学技術高等学校芸術鑑賞教室
- 2022 3月 ハイポジション×エイトビート『Kiss of Life』
- 2022 7月 『FLASH! アベハナネヴァーエンド』（再演）
9月 エイトビート『Five Star』（再演）※焼津文化会館共催公演
エイトビート『Five Star』（再演）※静岡県立焼津水産高等学校芸術鑑賞教室

計 13 作品 (24 公演)

【今後の上演予定】

- 2023 10月 NHK 大河ドラマ「どうする家康」関連事業として大型公演を実施予定